

フォトショップを使ったデータの自動変換

最近特許事務所でも電子出願が定着して図面のデータでのやりとりがだいぶやりやすくなってきました。

でも ” データ変換は手間がかかってたいへん ” という方にフォトショップを使ったデジタルデータの自動変換を紹介しましょう。

これを実行すれば50～60図程度のデータ変換は1分弱で完了するはずで
す。ものはためしでやってみてはいかがでしょうか。

ここではフォトショップのアクション機能を使って作業を自動化させるもの
ですがイメージとしてはビデオの録画 / 再生のような感じです。それでは今
回はデジタルデータから特許出願用のG I F 4 0 0 d p iのデータを自動作
成させるアクションを作ってみましょう。

STEP1

変換するデータのフォルダと変換した後のデータを保存するフォルダを作り
ます。ここでは仮に ” I N ” のフォルダと ” O U T ” のフォルダとしておき
ましょう。(” I N ” のフォルダにはイラストレータ等のデータを1つ以上
入れておいて下さい)

STEP2

メニューのウィンドウから ” アクションを表示 ” を選んでアクションのパレ
ットを表示させます。ここではすでに初期設定のアクションがいくつか登録
されているはずで
す。では、アクションパレットのメニューから ” 新規セッ
ト ” を選んで新しいフォルダを作っておきましょう。名前は ” 特許データ変
換 ” とでもしておきましょうか。

STEP3

先程のアクションメニューからこんどは ” 新規アクション ” を選びます。こ
こでアクション名は ” G I F 4 0 0 ” とでもしておきましょうか。アクショ
ン名の下
の欄のセットはプルダウンになっていますが先程作った特許データ
変換が表示されていますか?確認して下さい。ここでファンクションキーが
使える環境の方はこのアクションを実行させるファンクションキーを登録し
ておく
とよいでしょう。以上設定が終わったら ” 記録 ” ボタンをクリックし
て記録を開始します。以降の動作は制限時間などありませんからゆっくりお
ちついて実行して下さい。

STEP4

最初にメニューのファイルから ” 開く ” を選んで下さい。ダイアログボック
スが表示されたら先程作った ” I N ” のフォルダのデータを選択して ” 開く
” ボタンをクリックしてください。
ダイアログボックスが開いたら解像度を ” 4 0 0 pixels/inch ” にモードを
” グレースケール ” に設定して下さい。アンチエイリアスは不要ですのでチ
ェックしないで下さい。設定が終わったら ” O K ” ボタンをクリックして下
さい。

グレースケールに変換されたデータが開きましたか？

STEP5

次にメニューのイメージのモードから ”モノクロ二階調” を選んで下さい。
”レイヤーを統合しますか？” と聞いてくるので ”OK” ボタンをクリックして進めて下さい。ダイアログボックスが開いたら出力を ”400pixels/inch” に設定して変換方式を ”50%を基準に2階調に分ける” に設定して ”OK” ボタンをクリックして下さい。

STEP6

次にメニューのファイルから ”別名で保存” を選んで下さい。保存先は先程作った ”OUT” のフォルダを選択してください。このときファイル形式は ”Compu Serve GIF” に設定して ”保存” ボタンをクリックして下さい。ダイアログボックスが開いたらGIFオプションを ”標準” に設定して ”OK” ボタンをクリックして下さい。

以上で作業は完了ですのでアクションメニューの ”記録中止” を選択して下さい。次に実際に自動作業を動かして見ますが先程 ”OUT” のフォルダ内に出来たGIFデータはゴミ箱に捨てておいて下さい。

STEP7

メニューのファイルの自動処理から ”バッチ” のを選んでください。
ダイアログボックスが開いたら実行の欄のセットは先ほどの ”特許データ変換” アクションは ”GIF400” を選んでください。
次にソースは ”フォルダ” を指定して ”選択” ボタンをクリックして先程作った ”IN” のフォルダを選択して下さい。
次に ”アクションの開くコマンドを無視” のチェックボックスをマークして下さい。
次に実行後は ”フォルダに保存” を指定して ”選択” ボタンをクリックして先程作った ”OUT” のフォルダを選択して下さい。
次に ”アクションの保存コマンドを無視” のチェックボックスをマークして下さい。
これで設定は完了です ”OK” ボタンをクリックすると自動作業が開始されますので見ていて下さい。データが1つだけだと繰り返し作業が確認できませんので10個位 ”IN” のフォルダに入れて実行してみてください。